

いしかわ

Vol 25

2007 Winter

NPO ニュース

特集 いしかわのNPOマップ (金沢エリア②)

いしかわのNPO

NALC石川(ボランティア合歡の会)

NPO法人 いしかわ自然体験支援隊

NPO法人 輪島市地域づくりNPO

NPO法人 子ども館

[ちょっと気になる、いしかわのNPO]

GAIA自然学校

これで納得!「NPOガバナンス」

信頼されるNPOの7つの条件

県からのお知らせ

NPO・ボランティア情報

助成金ニュース

リーダーズVOICE

CO-NEXT(コネックス)代表

橋本 康平さん

つながる、
ひろがる、
ふれあう。

石川県

URL <http://www.ishikawa-npo.jp>

NALC石川(ボランティア合歓の会)

〒920-0902 金沢市尾張町2丁目16-1
TEL&FAX 076-232-5868
URL <http://nalc.jp>
E-mail nalcnemu@spacelan.ne.jp

設立の経緯

NALC(ナルク)とは「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」が正式名称でその頭文字をとっています。大阪に本部事務局があり全国に活動を展開しているNPO法人で、石川県の活動拠点として、平成9年3月に設立されました。ボランティア合歓の会は、NALC石川の愛称です。やさしい花「合歓(ネム)」がその由来で、字も助け合って「合い歓ぶ」で趣旨にも合うということもあり、女性会員の提案から付けられたものです。

「自立・奉仕・助け合い」をモットーとして温かい思いやりの心とふれあいで、高齢社会に対応し、地域社会づくりを推進することで、会員の生きがいを追求するのが理念です。ボランティアすることで時間を蓄え、将来自分が困ったときや思いがけず病気になる時などに時間を引出し利用することができます。全国組織なので、遠く離れている両親のために自分の蓄えた時間を使うこともできます。NALC石川の会員は、現在130名になります。



会員によるデイサービスセンターでの民謡ボランティア

活動内容

会員同士の時間預託制による相互扶助活動
(例)家庭内外の仕事、病院などへの送迎 など
老人福祉施設でのボランティア活動
(例)洗濯物たたみ、お茶会、カラオケの集い など
介護教室、手話講座などの勉強会
会員の親睦行事、同好会活動
(例)手芸、俳句、マジック、カラオケ、練功教室 など
高齢者疑似体験などの実施

仲間になってください

原則50歳以上(若い人も大歓迎)
ボランティアをしたいが、どうしたらいいか迷っている方、ぜひご参加ください。

会費

年間3000円(夫婦で加入の場合、2人で年間3000円)

NPO法人 いしかわ自然体験支援隊

〒921-8066 金沢市矢木2丁目129番地
TEL&FAX 076-240-3246
URL <http://www.kanazawa-net.ne.jp/morie>
E-mail morie@kanazawa-net.ne.jp

設立の経緯と目的

平成17年2月にキャンプやネイチャーゲーム、いしかわ自然学校等の自然体験活動の指導者資格を持った人や、野外活動の専門家が集まり「自然を感じる」「自然を知る」「自然のために」という3つの自然体験活動のステージで、経験の多さや深さを考慮してその経験に基づいた活動を支援し、大人を中心に幼児から高齢者までユニバーサルな自然体験活動を通して「持続可能な社会づくり」ができるようにすることを目的に設立いたしました。

活動の内容

当団体の事業は、不定期開催で、主に体験学習法を軸にした参加型事業を中心に、中高年を対象にした「熟年遊び塾」、親子のための「お父さんと子どもの遊び塾」「お母さんの癒し塾」等、石川の自然や文化の体験や、恵まれた自然を活用し身近な問題や課題の発見とその課題解決のため事業、学校や地域、その他の団体で行う環境教育等の自然体験活動の企画運営サポート事業、



熟年遊び塾

自然体験活動を安全に楽しく行うためのその手法を学ぶ指導者養成事業を行います。

発足して1年余りということで、まだ認知度が低いのですが、今年(平成18年)

は、新聞3社(地元紙2社、中央紙1社北陸版)に当団体の紹介記事が掲載され、社会の期待の大きさを感じています。循環型社会を構築する上においても、また、まもなくやって来る「団塊の世代」第二の人生活躍の場の提供という意味においても、当団体の取り組みは、ますます重要なものになると考えています。



ESD北信越ミーティング



いしかわ自然学校まつり

NPO法人 輪島市地域づくりNPO

〒928-0001 輪島市河井町15部13番地17
TEL 0768-23-1177 / FAX 0768-23-8989
URL <http://www.wajima.ne.jp/npo>
E-mail npo@wajima.ne.jp

輪島市地域づくりNPOは、平成14年8月の設立から、早くも5年目を迎えました。市民・行政・企業らによる協働の地域づくりシステムの構築に向けさまざまな取り組みをしてまいりましたが、今後もさらなる広がりを果たした地域づくり活動に邁進することを会員一同、再確認し、歩んでいきたいと思っています。特に、門前町と輪島市の合併により、活動エリアが広がったことから、門前地区での会員拡大を行いながら輪島市の一体的な発展を目指します。また、新たに委員会を設置し、整備が進む地域の環境を活かす具体的な取り組みを企画することとしました。さらに、輪島で一番歴史のあるNPO法人として各団体との連携を強化しながら地域の振興に寄与したいと考えています。



第1回定例会(講演会)の様子

主な活動

平成15年「都心・街なか再生プログラム策定支援事業
～輪島くちこみ情報マップ～」

「まちなか探検隊」を通じて地域資源の掘り起こし、再発見を行いながら、ワークショップを重ね住民の口コミ情報を掲載したマップ「輪島くちこみ情報」を作成。これにより環境形成が進むまちなかの商店街沿道を回遊軸として、「輪島くちこみ情報」を手にした来訪者がまちなかを回遊し、また、輪島固有のヒト、モノ、コトに触れることで、まちなか交流を促進、ソフト面からの街なか再生を目指しました。



輪島くちこみ情報

平成16年「都心・街なか再生シンポジウム～ぐるっと輪島～」住民参加によるまちづくりへの理解促進と「まちなか交流推進」に向けた動機付けを行い、これを契機に整備が進むまちなかをステージとして、商店主、住民、行政、関係団体による協働のまちづくりが、さらに広がりを果たすことを目的として開催しました。

NPO法人 子ども館

〒923-1261 能美郡川北町宇土室丙114番地10
TEL&FAX 076-277-3632
URL <http://kosodate-web.com/kodomokan>
E-mail kodomokan@kosodate-web.com

このところの多発している幼い子の虐待や事故等に心を痛めています。これらの一因は、子育てに対する社会的な支援の不足ではないかと考えています。子どもが小さい時は、何かと親の自由も制限されがち。そこで私達は、働く親、毎日育児に頑張っている母親の願いに応え、それぞれのライフスタイルにあった子育てのサポートをしていきたいと、保育に携わって30年余の仲間たちと7年前に子育てルームを開設、平成18年3月にNPO法人の認証を受けました。



当館の全景



異年齢でサポーターと遊んでいる様子

まだスタートして間もないこともあり、専門分野の会計や事務整理に追われる日々、手探りしながら仲間たちと活動にも取り組んでいます。

主な活動

一時預かり保育、休日・夜間・お泊まり保育等。出張保育として家庭に出向き、ベビーシッターをします。軽度の病児保育にあたり、看護や休養にあたります。保育園等の送迎。子育て相談や、ママ友達同士の交流の場を開設しています。

上記の活動では、経験豊かなスタッフとして保育士・看護師・調理士・保育サポーターが相談にのったり一緒に遊んだりしながら、安全保育を第一に取り組んでいます。

当面の課題は、専門的な研修が十分できないことです。また、一番困っていることは、活動費や人件費等の運営資金の不足があげられます。しかし、これからは初心を忘れずに一人でも多くの方に利用いただき、子育てのお手伝いをすることで、「親支援=子育て支援」につながることが願っています。

利用時間 / 平日 8:00 ~ 18:00(時間外保育 18:00 ~ 21:00)
土・日・祝祭日 予約に合わせた保育時間
利用保育料 / 上記にお問い合わせください。
原則として事前予約制
見学はいつでもOK!(事前にお電話ください。)

GAIA自然学校

自然の中で子どもたちの心を豊かにたくましく

子どもたちの心をたくましく

GAIA自然学校は、自然との触れ合いを通して子どもたちの心の育成に取り組んでいるNPOです。2週間に1度のペースで、日帰りキャンプや季節に応じた昆虫採集、魚釣り、スキー教室などの自然体験教室を県内各所で開いています。毎回、金沢市と近郊の市町から20人ほどの子どもが参加。中でも、未就学児や小学生を対象に日帰り山野に繰り出す、自然教室「GAIA Kids」(月1回開催)は、いつもキャンセル待ちがでるほどの人気です。



自然教室ガイアキッズ



冒険教室レンジャーズ

子どもたちに、ただ自然を感じてもらおうだけでなく、これらプログラムの目的ではありません。1泊2日のキャンププログラムでは、集団生活のためのルールを学びます。小学3年生から6年生を対象とした冒険教室「Rangers」では、専門のインストラクターを招いてロッククライミングやパラグライダー、マウンテンバイクといったアウトドアスポーツの体験プログラムを行い、心身に苦しさをとまらぬ挑戦を通してチャレンジ精神を養います。

代表の成田裕さんは「例えば登山では、山の動植物の生態を知ると同時に、登頂を果たしたときには強い達成感を感じられます。これらの体験を通して、内気だった子に積極性が出てきたり、子ども同士で助け合う、リーダーシップをとって仲間の世話をするなど、一回りも二回りも成長した姿が見られるようになります」と体験プログラムの成果を話します。



沖縄無人島キャンプ

学生ボランティアの能力も伸ばす

GAIA自然学校の前身は、2004年に発足した「いしかわ野外教育研究会」で、06年4月から名称現在の「GAIA自然学校」へと変更しました。運営は、成田さんと登録ボランティア15人の手で進められています。ボランティアメンバーは、金沢大学や石川県立大学などの大学生で、登録者を対象にボランティアリーダーの育成講座を定期的実施しています。



指導者の野外研修

学生ボランティアの研修・育成も実はGAIA自然学校にとっては重要な事業の一つです。「参加する子どもを手伝ったり面倒を見ることで、世話役の学生たちにもコミュニケーション能力や責任感を身につけてほしいのです。GAIA自然学校は、子どもと大学生の相互教育の場、異なる世代同士のコミュニケーションの場なのです」(成田さん)。

大学生らは、週に1度は集まって、実施するプログラムの企画立案やスケジュール作成を進めるほか、時には、子どもたちとの接し方を熱心に議論します。各プログラムでは、子どもたちと距離を縮めるために、一人ひとりがニックネームを持って参加し、子どもたちとコミュニケーションを図ります。泣きだして動かなくなった子をなだめるなど、ハプニングが学生ボランティアの成長のきっかけになり、また学生たちに励まされて元気を出し頑張る子どもたちにも、変化や成長が表れます。



指導者研修の様子

対象年齢を広げた企画も検討中

GAIA自然学校は、07年4月のNPO法人化を予定しており、これをきっかけにさらなる事業の拡充を計画しています。

新年度の夏に実験的に開催を企画しているものの一つに「フィールドラボ」があります。県内海水浴場にある海の家の隣に屋台を作らせてもらって、海中観察用にシュノーケリングの道具を貸し出します。海水浴をきっかけに、海の中の生物の生態や環境を楽しみ勉強してもらおうのです。このほか、大人を対象に舩倉島での2泊3日のサバイバルキャンプも検討しています。

「石川県には自然と接することができる場がたくさんあります。こうした自然体験プログラムへの参加で、子どもに限らず幅広い年齢層の方に、普段見ることのない世界を知ってもらい、視野を広げてもらえたら」と新事業へ期待を膨らませています。



イベント「いしかわ自然学校まつり」

〒920-0855
金沢市武蔵町14番31号 ITビジネスプラザ武蔵501
GAIA自然学校
TEL&FAX 076-224-8812
E-mail info@gaia-ns.com URL http://gaia-ns.com

「いしかわのNPO」 掲載情報募集のお知らせ

県内のNPO・ボランティア団体の活動内容等の情報を発信するコーナー「いしかわのNPO」を設けています。貴会の活動の情報を発信する場として、ぜひご利用いただければと思います。

掲載参考項目
・団体名、団体住所、電話番号、FAX番号、E-mail、URL
・設立の経緯、活動の内容(必ずご記入ください)、会費、利用料金、困っていること、アピールしたいこと等
600～800字程度にまとめてください。
掲載料/無料

寄稿方法/郵送、FAX、メールいずれも可
その他/活動風景などのお写真も併せて送付
いただければと思います(電子データ可)。
送り先/石川県NPO活動支援センター
〒920-0962 金沢市広坂2-1-1 石川県広坂庁舎2号館2階
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
E-mail npo@pref.ishikawa.lg.jp 担当/河原

これで納得! 「NPOガバナンス」

川柳で綴る

2006年10月、日本NPOセンター主催「2006年度第25回地域の支援センタースタッフのための特別研修会」に参加しました。その際、研修テーマ「NPOのガバナンス(組織統治)」を「川柳で表現する」という事前課題が出されました。研修の結果、「NPOのガバナンス」について、6つの標語が提起され、現在、まとめの作業が進行中です。今回は、その内の5つを取り上げ、標語の一部に修正を加えたものをもとに、「川柳」と「解説」でNPOの組織のあり方を考えてみましょう。

i-ねっと事務局長・青海康男

この組織 わたしの参加の意味はなし

このは何処? わたしは何をすればいい?

誰でも安心して参加できる仕組みを持っていますか?
自発的に組織に関わるボランティア参加の仕組みを持つNPOには、多様な個人が集まることとなります。組織(活動)に参加した者が組織やその活動について理解できるよう、参加者をコーディネートのできる力を持つことが求められます。

やる気なし 目的忘れたこの組織

ひとり下で走る 創立者

この組織 あんたひとりのものじゃない

この会議 10回しやばって まだ会議

MISSION(使命)を共有し、それを伝える力を持っていますか?
市民活動(NPO活動)は、利益を上げることが目的の企業活動(営利活動)と異なり、評価の基準があいまいです。MISSIONへの思いも、とすれば自己満足になりがちで、自分と周辺の人たちはいつも、同じ気持ち、同じ考えでいると錯覚してしまうことも少なくありません。会議での小さな意見の食い違いで気づいた時にはもう遅く、悪い噂が広がるケースもあります。また、仲間内だけの納得を繰り返しては、なかなか社会から認知されません。明確なMISSIONをメンバーで共有し、社会に発信し、組織の目的を確認できる仕組みを持ちましょう。

納得して活動できる意思決定を行っていますか?
NPOの多くは、ピラミッド型より平面型の組織形態で運営されています。つまり、参加した個々には、同等の発言の機会が保障されているため、合意形成には、一定のプロセスが必要になります。これは、とても工夫とエネルギーが要求されます。また、会議の運営には、個々の活動への参加意欲を高めるような「自主性」を生み出すことも大切です。

多様なコミュニケーションを醸成する仕組みと風土を持っていますか?
NPOには、会員、支援者、利用者、企業や行政のパートナーなど、様々なステイクホルダー(利害関係者)が存在します。その人たちとの信頼関係を築き、声を聞くことは、組織のチェックにもなります。そのような人たちの意見を取り入れる仕組みがありますか。その組織ならではのコミュニケーション手法が、組織風土をつくり、後継者を育む土壌が生まれます。

その理屈 通用するのはこの場だけ

今日もまた 彼の理屈にかなわない

透明性と自浄能力を高める仕組みを持っていますか?
NPOは、平面型の組織形態のため、権限や責任の所在があいまいになりがちです。また、財務的に(ぜい)弱であるがゆえに、理念より、採算性を重視してしまうこともあります。信頼される組織を目指すには、情報の公開が不可欠です。組織の情報を公開することは、組織が社会から評価され、批判にさらされることにつながり、社会に対して説明責任を負うこととなります。社会(外部)との関わりが増えることで、組織の理念や責任の所在を明確にする仕組みが生まれてきます。

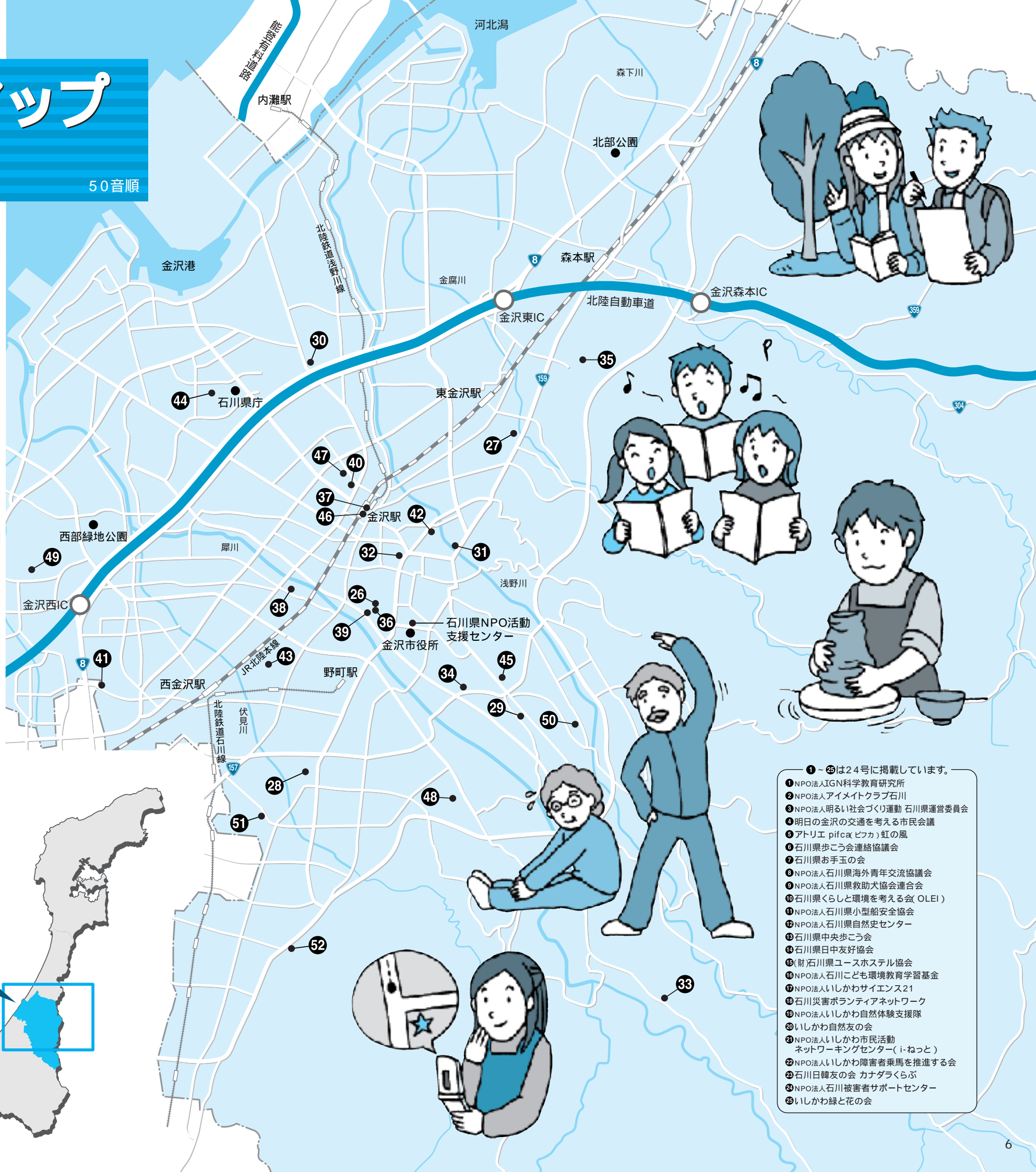
この事業 わたしのやりたいことじゃない

情報を さらして気づくわが組織

いしかわのNPOマップ (金沢エリア)

50音順

- 26 NPO会計サポーターズクラブ北陸(金沢市長町)
[NPO会計などの専門家がNPOの自立を支援]
TEL 076-232-6673
- 27 NPO法人エバークリーン(金沢市鳴和)
[環境にやさしい工法を地域に提案する]
- 28 NPO法人おいおい健康塾(金沢市有松)
[シニアの生きがい、交流を図る]
TEL 076-241-0171
E-mail oiiojuku@amber.plala.or.jp
- 29 NPO法人オープンハウス・クローバー(金沢市小立野)
[障害をもっていても働き・遊び・笑いあふ場所]
TEL 076-223-7028
- 30 NPO法人おとぎの杜(金沢市南新保町)
[竹炭焼き・休耕田を菜園に再生]
- 31 女川に菜の花油の灯をともし会(金沢市東山)
[川と「いのち」をつつめなおす]
TEL 076-252-3176
E-mail seeress@po4.nsk.ne.jp
- 32 GAIA自然学校(金沢市武蔵町)
[人にやさしく、地球にやさしいづくり]
TEL 076-224-8812
E-mail info@gaia-ns.com
- 33 金沢赤とんぼ童謡・唱歌愛唱会(金沢市辰巳町)
[童謡・唱歌の再評価・再普及活動]
TEL 076-229-0436
- 34 金沢エコライフくらぶ(金沢市笠巻)
[体験型環境教育の事前講座実施団体]
FAX 076-222-3017
- 35 金沢エコライフ・ワーキングネット
(金沢市神谷内町)
[環境教育・学習の実践]
TEL 076-251-0522
- 36 NPO法人金沢九谷倶楽部(金沢市長町)
[金沢九谷の保存・研究・職人育成]
TEL 076-221-6666
- 37 金沢グッドウィルガイドネットワーク(KGGN)
(金沢市木ノ新保町)
[善意通訳ガイド国際観光推進団体]
TEL 076-232-3933
URL http://kggn.sakura.ne.jp/
- 38 NPO法人金沢スピリッツライフ(金沢市本江町)
[地域に密着した小規模サービス]
TEL 076-261-3248
URL http://www.kanazawa-spirits.com
- 39 金澤長町まちづくり事務局(金沢市長町)
[賑わいの創出と伝統文化の再発見]
TEL 076-231-5730
- 40 金沢 まちなか スタイル(金沢市広岡)
[金沢まちなか文化を楽しむ会]
URL http://www.geocities.jp/art_navi_kanazawa/top
E-mail art_navi_2006@yahoo.com
- 41 金沢みどりの調査会(金沢市新保本)
[市民と専門家で金沢の植物を調査]
TEL 076-249-5204
- 42 顔真流書道事業部(金沢市彦三町)
[書道を通じ、日本文化の伝承活動]
TEL 076-222-6233
- 43 クリニックリストの会「いと」(金沢市増泉)
[女性に優しい産婦人科を選ぶには]
TEL 076-245-3444
- 44 NPO法人ケーネット知楽市(金沢市鞍月)
[ITの活用を応援します]
E-mail info@chirakuichi.com
URL http://www.chirakuichi.com
- 45 NPO法人健康 環境 教育の会(金沢市石引)
[「医療・福祉・健康・環境」の教育、研究、啓発、実践]
TEL 076-265-4031
- 46 子育て生活応援団(金沢市昭和町)
[子育て支援の民間ネットワークグループ]
- 47 NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク石川
(金沢市西念)
[子どもの虐待防止のための電話相談等]
URL http://www.capnet.pos.to/main.html
- 48 子どものけんりCAPIいしかわ(金沢市平和町)
[県内学校に子どもへの暴力防止プログラムを届けます]
E-mail ywywk560@yahoo.co.jp
- 49 子ども夢フォーラム(金沢のみどり)
[チャイルドラインによる子ども支援と大人への社会発信]
URL http://www.yumeforum.org/
- 50 CO-NEXT(金沢市旭町)
[ボランティア活動への学生人材派遣]
TEL 090-3161-9110
- 51 NPO法人個別教育研究会(金沢市久安)
[個別(1対1)での家庭学習支援]
TEL 076-245-0333
URL http://www.0333.jp
- 52 NPO法人こらぼる(金沢市高尾南)
[ケータイ連絡網などICTを活用した子育て支援]
URL http://collaboru.net/「こらぼる」で検索してください!



- ①～⑫は24号に掲載しています。
- ⑬ NPO法人IGN科学教育研究所
 - ⑭ NPO法人アイメイトクラブ石川
 - ⑮ NPO法人明るい社会づくり運動 石川県運営委員会
 - ⑯ 明日の金沢の交通を考える市民会議
 - ⑰ アトリエ pifca(ピフカ)虹の風
 - ⑱ 石川県歩こう会連絡協議会
 - ⑲ 石川県お手玉の会
 - ⑳ NPO法人石川県海外青年交流協議会
 - ㉑ NPO法人石川県救助犬協会連合会
 - ㉒ 石川県くらしと環境を考える会(OLEI)
 - ㉓ NPO法人石川県小型船安全協会
 - ㉔ NPO法人石川県自然史センター
 - ㉕ 石川県中央歩こう会
 - ㉖ 石川県日中友好協会
 - ㉗ (財)石川県ユースホステル協会
 - ㉘ NPO法人石川子ども環境教育学習基金
 - ㉙ NPO法人いしかわサイエンス21
 - ㉚ 石川災害ボランティアネットワーク
 - ㉛ NPO法人いしかわ自然体験支援隊
 - ㉜ いしかわ自然友の会
 - ㉝ NPO法人いしかわ市民活動ネットワークセンター(i-ねっと)
 - ㉞ NPO法人いしかわ障害者乗馬を推進する会
 - ㉟ 石川日韓友の会 カナダくらぶ
 - ㊱ NPO法人石川被害者サポートセンター
 - ㊲ いしかわ緑と花の会

金沢地区は、24号、25号、26号の3回に分けて順次掲載します(50音順)。今回紹介した団体以外にも、金沢地区にはたくさんのNPOが活躍しています。

信頼されるNPOの7つの条件

【2004.2.20】

民間NPO支援センター・将来を展望する会

はじめに……

特定非営利活動促進法(NPO法)が施行されて、2003年12月1日で5年になりました。この間、約14000の特定非営利活動法人(NPO法人)が誕生し、その設立傾向はさらに活発になりつつあります。このことは、NPOという考えが日本社会に着実に受け入れられつつある証拠と考えることもできます。しかし一方では、法律制定に向けて抱いたNPOへの熱い思いが、少しずつ忘れられてきているようにも感じられます。なかには、どう見てもNPOらしくないNPOも登場しつつあります。

今問われているのは、「NPOらしいNPO」とは何か、ということではないでしょうか。それをここでは「信頼されるNPO」として考えることにしました。NPOは、まずそのサービスの受益者から信頼されなければなりません。同時に、そのNPOを応援する支援者からの信頼も欠かせません。さらにそれらを含む社会全体からの信頼が必要です。そのような三者の信頼を得たとき、それが「NPOらしいNPO」なのだと言えるのではないのでしょうか。

私たち各地のNPO支援センターの現場を預かるものたちが、そのような「信頼されるNPO」の条件について考えたのが、以下の7項目です。

これらの各項目は、「理想のNPO」を語ったものではありません。NPOならせめてこうあって欲しいという、標準的な水準を描いたものです。数値目標の設定も議論しましたが、今回は入れないことにしました。次の段階では、ぜひ考えてみたいと思っています。

なお、ここでいうNPOは、NPO法人を主な対象としながらも、それ以外のさまざまな組織形態の市民活動団体を対象として想定しています。

1 明確なミッションを持って、継続的な事業展開をしていること

NPOが目指す活動の目的を、わかりやすい言葉によって明らかにしていることが大切です。それは、その活動によってどんな社会的な変化をもたらそうとしているのかなど、出来るだけ具体的に明文化していることが必要です。さらに、活動目的に添った事業を適切に行っていることが、重要なポイントになります。また、その事業によって、質の良いサービスを安定的・継続的に提供していることも望まれます。そのためには、事業を実施するための中・長期的な事業計画を持ち、それを客観的に評価しつつ、タイムリーな見直しをしていくことも重要でしょう。



目的



2 特定の経営資源のみに依存せず、財政面で自立していること

NPOの経営は「人・もの・金・情報」など、多様な経営資源によって進められます。NPOは市民の自発性を大切にして発足をしていますので、できるだけ自由度の高い自立した経営が求められます。そのため、特に財政面では、特定の経営資源のみに依存せず、会費や寄付金収入、自主事業収入などの安定した財源と、受託事業収入や補助金・助成金収入などの一時的ではあるがまとまりのある財源とのバランスを考慮することが大切です。とりわけ昨今の「協働」の名のもとで増加する行政などからの委託事業に関しては、設立目的との整合性の検討や提示された条件について交渉していける力量が重要です。

3 事業計画・予算の意思決定において自律性を堅持していること

市民の自発性に基礎を置くNPOとしては、その原点を危うくしないように、特定の個人や組織(行政、企業、宗教団体、政党等)の意向にコントロールされることなく、独立して事業計画や予算を決められるかどうか重要なポイントとなります。また、対外的な独立性だけではなく、運営の仕組みとしても、理事会や総会がある程度の頻度・出席率で定期的にかかっていると、団体としての自律したガバナンスも機能していることが重要でしょう。

(組織) 統治

4 事業報告・会計報告などの情報を積極的に公開していること

会員や寄付などのいろいろな形でサポートしている人たちだけでなく、ひろく社会の人々に理解してもらい、活動の意義に共感し支持・参加してもらうためには、何を目的に、どのような活動を行っているのか、その成果はどういうものだったのか、という事業の報告と、収支や資産等の会計の報告が大切です。そして、ホームページや機関紙などの自らの発信ツールを用いて、組織情報を含め、それらを解りやすく積極的に公開することが求められます。NPO法人は、年度終了後3ヶ月以内に所轄庁に事業報告書や決算書を提出し、一般の閲覧に供することが義務づけられていますが、この最低限度の法的義務にとどまらず、より積極的に情報を公開することが望まれます。



報告書

5 組織が市民に開かれており、その支持と参加を集めていること

市民が自発的に社会問題の解決に取り組む手段としてのNPOの運営にあたっては、その意思決定と事業推進において、広く市民が参加しやすいシステムを整備することが大切です。これは、対価を求めずに組織に関わる会員やボランティアの拡大、参加に関する明文規定の整備、会員・ボランティアの参加を進めるスタッフの確保、企画段階からの参加の機会の保障、意思決定の経過報告や事業成果の公開による組織の透明化などによって実現されます。こうした努力は、市民の共感と支持を基盤とした組織づくりを進めることでもありますが、その結果、会費や寄付金などの共感に基づく収入の拡大が期待され、財政的にも市民参加型の組織化が進められることとなるでしょう。



6 最低限の事務局体制が整備されていること

事務局体制には、それぞれの組織の事業内容や事業規模により違いはありますが、社会的な事業を行っているNPOとしては、常勤スタッフの有無にかかわらず、外部からの連絡がいつでもきちんをとれる体制の整備が必要です。さらに、その担当者が頻繁に変わることなく、継続的・安定的に仕事をしていることも重要です。また、組織として事業を実施している限り、情報が個人にのみ所有されることのないように、組織内部で情報を共有するための連絡調整の仕組みをつくることや、担当する業務の範囲や責任の所在を明確にしておくことも重要です。物事を進めていく上での決裁の仕組みや権限の所在についても、内部で取り決めておくことが大切でしょう。

7 新しい仕組みや社会的な価値を生み出すメッセージを発信していること

必ずしもすべてのNPOが社会変革を目指すべきであるというわけではありませんが、多くのNPOは、どこか社会に問題があると気づくところからスタートしていると思います。しかし日常的な事業の推進に追われるうちに、いつか当初の問題意識を忘れてしまうことも少なくありません。NPOである限りは、当初の問題意識を忘れることなく、常に社会に目を開き、よりよい社会づくりのために何が必要か、自分たちには何が出来るのか、新しい仕組みや社会的な価値の創造について思いを巡らし続けたいと思います。そして大

切なことは、それをタイミングよくメッセージとして社会に発信していくことです。このようなメッセージの積み重ねが、そのNPOの大きな信頼につながるはずで

問題意識



おわりに……

この7つの条件は、各地のNPO支援センターの現場の責任者が、2003年9月に札幌市内に集まり、NPO全国フォーラム開催の前日から当日の午前にかけて「民間NPO支援センター・将来を展望する会」を開催、議論を重ね、その後さらに起草委員会でその結果を整理しなおし、最終的に日本NPOセンターにおいて取りまとめたものです。多くのNPOで、自らのありようを議論するためのたたき台となることを期待しています。

なお、作成に参加した者は下記の通りです。

「信頼されるNPOの7つの条件」 作成参加者氏名 (所属/役職)

*は起草委員 北から都道府県順 役職は2004年2月現在

- 杉山 さかえ (特定非営利活動法人 北海道NPOサポートセンター / 理事長)
- 中村 年春 (特定非営利活動法人 NPO推進青森会議 / 理事長)
- 三上 亨 (特定非営利活動法人 NPO推進青森会議 / 事務局長)
- * 紅邑 晶子 (特定非営利活動法人 せんだいみやぎNPOセンター / 常務理事・事務局長)
- 横田 能洋 (特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ / 常務理事・事務局長)
- 越河 澄子 (特定非営利活動法人 さいたまNPOセンター / 副代表理事)
- 西川 正 (特定非営利活動法人 さいたまNPOセンター / 理事・事務局長)
- 安藤 雄太 (東京ボランティア・市民活動センター / 副所長)
- 田中 尚輝 (特定非営利活動法人 市民福祉団体全国協議会 / 理事・事務局長)
- * 山岡 義典 (特定非営利活動法人 日本NPOセンター / 常務理事)
- * 田尻 佳史 (特定非営利活動法人 日本NPOセンター / 事務局長)
- 秋山 三枝子 (特定非営利活動法人 くろ野NPOサポートセンター / 理事・事務局長)
- 市来 圭 (特定非営利活動法人 ぎふNPOセンター / 理事・事務局長)
- 磯崎 剛 (特定非営利活動法人 しずおかNPOセンター / 理事・事務局長)
- * 後 房雄 (特定非営利活動法人 市民フォーラム21・NPOセンター / 代表理事)
- 天川 隆男 (財団法人 淡海ネットワークセンター)
- 川尻 良治 (財団法人 淡海ネットワークセンター)
- 服部 則仁 (みえきた市民活動センター / 理事)
- * 早瀬 昇 (社会福祉法人 大阪ボランティア協会 / 理事・事務局長)
- 今瀬 政司 (特定非営利活動法人 市民活動情報センター / 代表理事)
- * 実吉 威 (特定非営利活動法人 市民活動センター神戸 / 専務理事・事務局長)
- * 安藤 周治 (特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター / 代表理事)
- 中村 隆行 (特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター / 常務理事・事務局長)
- 船 美智子 (やまぐち県民活動支援センター / センター長)
- 菊池 修 (特定非営利活動法人 えひめNPOセンター / 代表理事)
- 半田 雅典 (高知県ボランティア・NPOセンター / 主任)
- 内田 洋子 (特定非営利活動法人 NPO高知市民会議 / 事務局長)
- 古賀 桃子 (特定非営利活動法人 ぶくおNPOセンター / 代表)
- 加留部 貴行 (福岡市 NPO・ボランティア支援課 / 専門員)
- * 上土 井章仁 (特定非営利活動法人 NPOくまもと / 代表理事)

お問い合わせ 日本NPOセンター / TEL 03-3510-0855

INFORMATION

県からのお知らせ

「災害ボランティアフォーラム」開催のお知らせ
～日本海重油流出事故から10年～ 全国各地で頻発する大規模災害！
万が一に備えて私たちは何ができるか

今回のフォーラムでは、地域で防災・減災のまちづくりを進める自主防災組織や、被災地で災害ボランティア活動を行っているNPOの方々をパネリストに招き、地域とボランティアが一体となった防災・減災活動のあり方について考えます。知っておけば、いざというとき役に立つ防災グッズや非常食アルファ米の試食もできます。

日時 / 平成19年1月13日(土) 13:00～16:30(受付 12:30～)

場所 / 石川県女性センター(金沢市三社町1番44号)

JR金沢駅より徒歩10分のところにおきます。

公共交通機関のご利用にご協力ください。

定員 / 300名

入場料 / 無料 参加には事前申込みが必要です。

内容 /

・基調講演「自助・共助が生き残りの道」 /

講師 / 伊永 勉氏((株)東京建設コンサルタンツ環境防災研究所)

・パネルディスカッション

「いざというときに求められる地域住民と災害ボランティアとの連携」

パネリスト /

大西 貴典氏(加古川グリーンシティ防災会)

松森 和人氏((特)ふくい災害ボランティアネット)

北村 裕一氏(日本赤十字社石川県支部)

山下 博史氏((特)災害・防災ボランティア未来会)

・防災グッズ等の展示(11:00～17:00)

1.日本海重油流出事故記録写真のパネル展

2.各種防災グッズの展示

3.阪神淡路大地震災害復興ビデオの放映

申込方法 /

1.氏名(フリガナ)、2.年齢、3.性別、4住所、5.電話番号、6.職業をご記入いただき、電子メール、携帯電話メール、FAXにてお申込みください。電話でもお申込みいただけます。

お申込みお問い合わせ先
石川県民文化局県民交流課
〒920-8580 金沢市鞍月1-1
TEL 076-225-1365 FAX 076-225-1363
E-mail npo@ishikawa-npo.jp
URL http://www.ishikawa-npo.jp

NPO人材養成サポート事業 セミナー開催のご案内
「ノンストップ・NPO金太郎飴セミナー」

～どこを切ってもNPO、どこにも入れる、ひとコマセミナー～

開催日及び場所 /

加賀地区 平成19年1月13日(土) 14日(日)

小松短期大学 小松市四丁町1-3)

能登地区 平成19年1月20日(土) 21日(日)

七尾サンライフプラザ(七尾市本府中町2部28)

参加費 / 無料

プログラム(共通) /

・初日(土曜日)13:00～18:30

NPOスタートセミナー「知ってこいボランティアからNPOまで」

NPOスキルアップセミナー「組織の問題・悩みにチャレンジ」

NPO会計セミナー「ここが違う!NPOの会計」

・2日目(日曜日)10:00～18:00

NPO労務セミナー「知らないことわい!NPOの労務」

NPO登記セミナー「役員・資産の登記変更を教えます!」

NPO会計ソフト演習セミナー「知らなきゃヤンする!パソコン会計」
NPO情報発信ブログセミナー「やってみよう!インターネットで団体紹介」
申込方法 / 希望地区(加賀、能登)、住所、氏名(フリガナ)、所属、連絡先(TEL、FAX、E-mailアドレス等)をご記入の上、郵送またはFAXにてお申込みください。

主催 / 石川県・NPO会計サポーターズクラブ北陸

その他、詳細については下記までお問い合わせください。

お申込みお問い合わせ先
NPO会計サポーターズクラブ北陸
〒920-0865 金沢市長町1-3-40(i-ねっと内)
TEL 076-232-6673 FAX 076-232-6674
E-mail mail@ishikawanpo-inet.jp
URL http://ishikawanpo-inet.jp/

NPO活動理解促進セミナー開催のご案内

金沢地区

ためされるNPOの力～市民運営から生まれるあたらしい「公共」～

プログラムなど /

<第1回:基礎的な講義>

・日時 / 平成19年1月19日(金)18:30～20:30

・テーマ / 「公共施設の運営を考える」

<第2回:活動事例紹介1>

・日時 / 平成19年1月25日(木)18:30～20:30

・講師 / 小中 明香里氏(NPO法人はづち)

西村 貴之氏(NPO法人クラブレッツ)

<第3回:活動事例紹介2>

・日時 / 平成19年2月2日(金)18:30～20:30

・講師 / 久保 信二郎氏(NPO法人こまつNPOセンター)

澤田 桂子氏(NPO法人わくわくネットはくい)

<第4回:NPO活動現場実習>

・日時 / 平成19年2月9日(金)18:30～20:30

・内容 / 金沢市民芸術村の施設見学、各工房担当者とのフリーク等

場所 / 第1回～第3回 / 石川県立生涯学習センター(金沢市広坂2-1-1)

第4回 / 金沢市民芸術村(石川県金沢市大和町1-1)

参加費 / 無料

申込方法 / 氏名、住所、所属、メールアドレスを記載の上、下記FAXもしくはE-mailでお申込みください。

主催 / 石川県・NPO法人いしかわ市民活動ネットワークセンター
その他、詳細については下記までお問い合わせください。

お申込みお問い合わせ先
NPO法人いしかわ市民活動ネットワークセンター
〒920-0865 金沢市長町1-3-40
TEL 076-232-6673 FAX 076-232-6674
E-mail mail@ishikawanpo-inet.jp
URL http://ishikawanpo-inet.jp/

NPO・ボランティア情報

ボランティア交流会開催のご案内

「仲間と語ろう!ボランティア活動」

～ボランティア交流会を通じ地域の活性化を考える～

地域で活動するボランティア団体同士が、ボランティア活動を進めていくためのノウハウや、それぞれの団体で抱えている課題等について意見交換をすることにより、ボランティア団体間のネットワークづくりや、各団体の自己啓発につなげることを目的として開催します。

能登地区

日時 / 平成19年2月14日(水) 13:30～16:30(受付 13:00～)

会場 / 羽咋市文化会館(羽咋市鶴多町亀田17)

参加費 / 無料

プログラム

13:00～ 受付開始

13:30～ 第1部(交流会開始、主催者挨拶、講師紹介)

13:40～ 基調講演

「福祉ボランティア活動と観光ボランティア活動を生かした地域活性化を考える」

講師 / 津田 孝司氏(NPO法人びあサポート)

14:30～ 休憩

14:40～ 第2部

分科会1「ボランティア団体運営について」

分科会2「ボランティア活動の実態と課題について」

15:30～ 各分科会まとめと報告

16:10～ 交流会まとめ、ネットワーク構築についての提案

16:25～ 閉会挨拶

申込締切 / 平成19年1月31日(水)

お申込みお問い合わせ先
特定非営利活動法人 びあサポート事務局
〒920-0862 金沢市芳斉2-15-15
TEL 076-231-6615(受付9:00～16:00)
e-mail meme-yomogi@s3.dion.ne.jp

災害ボランティア養成講座(能登地区)開催のご案内

地域のボランティアの皆様へ、災害ボランティアへの理解を深めていただき、災害ボランティア活動の推進につなげることを目的に、災害ボランティア養成講座を開催します。

日時 / 平成19年1月21日(日) 13:00～15:30

会場 / 能登空港ターミナルビル4F 会議室(輪島市三井町洲衛10部11番1)

定員 / 150名(高校生以上どなたでも)

申込みは不要です。ご自由にご参加ください。

受講料 / 無料

プログラム /

13:00～13:15 開会の挨拶

13:15～13:50 ビデオ「ふるさとに重油が来て1年・心の湧いた少年たち」

13:50～15:20 講演「地震災害等の自然災害に対する具体的な対応策」

講師 / 山根 義信氏

(災害対策コンサルタント(旧柳田村出身))

15:20～15:30 閉会

お申込みお問い合わせ先
石川災害ボランティアネットワーク
TEL 076-261-9612(宮崎)

助成金ニュース

全日本冠婚葬祭互助協会 第8回社会貢献基金助成

目的 / この基金は、地域の種々の災害の救済、社会福祉事業、環境保全事業、国際協力など社会貢献活動を行う各種団体等への助成、並びに社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業に対する助成を行い、以て日本の生活文化と地域社会の発展に寄与することを目的としています。

募集期間 / 平成18年10月1日～平成19年2月28日(必着)

応募方法 / 所定の提出書類を下記までご郵送ください。

応募資格 / 非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループも対象となります。)又は大学、研究機関(個人も可)で、今回募集する助成対象事業の趣旨に合致する事業を行おうとしている団体等。



石川県職員初任者研修において、ボランティアについて講義する機会がありました。

災害ボランティアを例に、様々な視点から行政の役割も考えていただきました。

ナホトカ号重油流出から10年が経過し、年明けには、災害ボランティアフォーラムが開催されます。個人、NPO、企業、行政がそれぞれの役割を再考するきっかけになればと思っています。

対象事業 /

- (1)研究助成事業(婚礼(結婚式)、葬儀(お葬式)など儀式文化の調査研究)
- (2)高齢者福祉事業
- (3)障害者福祉事業
- (4)児童福祉事業
- (5)環境・文化財保全事業
- (6)国際協力・交流事業

助成金額 / 総額1000万円を目途(1件当たり200万円上限。)

研究助成事業においては100万円上限。)

その他、詳細については下記までお問い合わせください。

お申込みお問い合わせ先
(社)全日本冠婚葬祭互助協会
社会貢献基金 運営事務局
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-6-2 第2秋山ビル7F
TEL 03-3433-4415 FAX 03-3435-0880

平成19年度(第6回)「環境NPO助成」

助成対象団体 /

国内のNPO法人、又は3年以上の実践活動歴を有する国内の任意団体(再委託や、第三者の活動支援を主たる目的とする活動は除く)。なお、活動層が3年未満の任意団体も、助成対象となる場合があります。

活動目的 / a「環境と経済との調和」に資する活動

b「環境と科学技術との調和」に資する活動

上記a bの目的を達成するための具体的取組み・活動計画を下記を参考例として申請書に記載願います。

・政策提言など、実践的活動での効果が期待される「調査研究」

・環境学習、環境教育に係る活動

・NPO活動に携わる専門家の育成を目指した活動

・国際交流(人材の派遣、招聘)活動

助成金額 / 1件当たり上限150万円

用途等 / 申請書に記載された活動内容に沿うものなら用途は問わない。

応募方法 / 所定の応募書類で下記まで申請する。

応募締切 / 平成19年1月26日(当日消印有効)

その他、詳細については下記までお問い合わせください。

お申込みお問い合わせ先
(財)日立環境財団
〒101-8010 東京都千代田区外神田四丁目14番1号
秋葉原UDXビル21階
TEL 03-3257-0851 FAX 03-3257-0854
URL http://www.hitachi-zaidan.org/kankyo/index.html

「あいむ」からのお知らせ

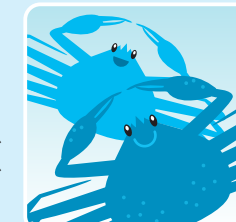
本誌に関するご意見、ご要望をお寄せください。お寄せいただいたご意見等は、制作に活かすほか、本誌に掲載してまいりたいと考えています。

「あいむ」は、石川県NPO活動支援センターの愛称です。

INFORMATION 利用案内

本誌は6月、9月、12月、3月の年4回発行する予定です。情報掲載希望の方は、おのおの前月の15日までに、事業の概要(企画書、チラシ等)を郵送、ファクシミリ等でお送りください。(その際には、「いしかわNPOニュース」掲載希望とお書き添えください。)ファクシミリの場合は、送信後必ず着信の確認をしてください。政治、宗教、営利を目的とする活動は掲載できません。誌面の都合により、お寄せいただいた情報を掲載できない場合があります。また、事前に掲載の可否の連絡はいたしませんので、ご了承ください。掲載料は無料です。

送り先: 石川県NPO活動支援センター
〒920-0962 金沢市広坂2-1-1 石川県広坂庁舎2号館2階
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559 担当 / 河原



石川県NPO活動支援センター

〒920-0962 金沢市広坂2-1-1

石川県広坂庁舎2号館2階

TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559

URL http://www.ishikawa-npo.jp

E-mail npo@pref.ishikawa.lg.jp

NPO活動や公的事業で、イベントの開催など、数時間から1日程度の短い時間に多くの手数を必要とするケースが少なくありません。ボランティアに関心を持つ学生のマンパワーを活用して、そうしたニーズに応える学生運営のボランティア支援団体「CO-NEXT(コネックス)」が注目を集めています。代表を務める橋本康平さんに、お話をうかがいました。

社会経験を求めて、社会貢献

CO-NEXT代表 橋本 康平さん

まちづくりなど 4つの分野に絞った支援

——コネックスは平成18年4月に発足したそうですが、きっかけは。

橋本 もともと金沢コミュニティシネマ推進委員会で、街中に公設民営の映画館をつくらうと署名活動をしていまして、4月に1万3000人分の署名を集めて金沢市に届けたことで一つの区切りがついたものですから、せっかくならそこで築いた学生同士のネットワークを何か活かせることはないかと考えて、ボランティア支援を始めたんです。

——ボランティアの必要なところへ学生さんが出向き、活動するわけですね。

橋本 そうです。僕を含め役員4名が学生ボランティアとして登録している120名の大学生、短大生、専門学校生とボランティア受入先との仲介(コーディネート)をメールを使って行っています。



金澤表参道夏祭り

——有償なんですか。

橋本 受入先から活動維持費として多少の経費をいただいて、学生ボランティアに交通費を支払っています。

——これまでに、どのような活動への支援をされてきているんですか。

橋本 「まちづくり」「福祉」「子ども教育」「国際交流」の4分野にある程度絞った参加をしています。例えば「まちづくり」であれば、金澤表参道(旧横安江町商店街)のお祭りや長町朝市のお手伝い。



長町朝市

「福祉」は介護施設やグループホームでの入居者の話し相手など。「子ども教育」としては、能登半島里山・里海体験村での小学生のサポート役。「国際交流」では、金沢大学に来た留学生をマンツーマンでアドバイスしたりサポートしたりしました。



ひなげしバザー

この冬は旧市街の 除雪の助っ人も務める

——お年寄りの多い地域の雪かき支援もされると新聞で見ました。

橋本 長町朝市のお手伝いで普段からお付き合いのある金澤長町まちづくり事務局と協定を結びました。でも、登録している学生ボランティアの7割は女性なので、冬に向けてもっと男手がほしいのが本音です。

——登録者増に向けた動きは…。

橋本 登録者が友達に声をかけるなどしています。登録はしてあっても実際にボランティアに出向くことがほとんどない学生もいて、今後も継続して登録者数を増やし、支援の依頼に応えていきたいと思っています。

——でも、登録は現役の学生のみに限っているそうですね。

橋本 はい。院生はその限りではありませんが、大学を卒業して社会人になったら、コネックスも卒業です。

——その理由は。

橋本 コネックスの活動の趣旨は、ボランティアによる社会貢献より、学生の社会経験の積み重ねやコミュニケーション能力の向上を第一義に置いており、金沢コミュニティシネマ推進委員会の署名活動でいろんな人と知り合い、協力し合えた体験が根底にあります。

——今後の課題、目標は。

橋本 コネックスの活動は、いろんな世代、いろんな役割を担う人と知り合える、やりがいのあるものです。一方、コネックス内部では、コーディネートの仕組みのせいもあって、登録者同士の横のつながりが薄く、ボランティアの参加率をアップできない一因にもなっており、そうした点を改善して、現在、週1ペースくらいになっているボランティア参加を、週1以上にしていきたいと思っています。登録者の教育や参加のマニュアル作り、参加時のアンケートのまとめや報告書の作成、会計の勉強など、課題はまだ山積しており、これらを一つひとつ解決していきたいですね。



ボラコン(石川県社会福祉協議会)

P R O F I L E

橋本 康平さん (はもと こうへい)

滋賀県出身。金沢大学工学部4年。金沢コミュニティシネマ推進委員会で署名活動をきっかけに、仲間数人と共に平成18年4月、CO-NEXT(コネックス)を立ち上げた。同年8月から2代目の代表に。「CO-NEXT」は、cooperation to nextで、「一緒に次へ」の意味が込められている。

【お問い合わせ】

CO-NEXT(コネックス)
〒920-0941
石川県金沢市旭町1-25-3 ジェターヴェナー葉山108
TEL 090-3161-9110
E-mail tsunagari88@yahoo.co.jp

